

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果概要について

吉野川市教育委員会

1 はじめに

吉野川市教育委員会では、学校と家庭・地域が連携して児童生徒の学習支援及び生活習慣の改善を図るために、学力や学習状況等の特徴的な傾向を、全国学力・学習状況調査の結果概要としてまとめました。

なお、本調査は特定の学年の学力・学習状況の調査結果であり、本市児童生徒全体の学力を表したものではありません。

2 調査の概要

(1) 調査目的

- ① 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ② 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ③ ①②のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査対象

- ・ 小学校第6学年の全児童 (本市対象児童数281名)
- ・ 中学校第3学年の全生徒 (本市対象生徒数228名)

(3) 調査内容

- ① 教科に関する調査(国語, 算数・数学)
 - ・ 国語, 算数・数学はそれぞれ次の(ア)と(イ)を一体的に出題
 - (ア) 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や, 実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - (イ) 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や, 様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
- ② 質問紙調査
 - ・ 児童生徒に対する調査(学習意欲, 学習方法, 学習環境, 生活に関する調査内容)
 - ・ 学校に対する調査(指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備などに関する調査内容)

(4) 調査日時

- ・ 令和3年5月27日(木)

3 全国学力・学習状況調査の分析結果

(1) 教科に関する調査結果 -全国正答率との比較から-

小 学 校

教 科	結 果
国 語	吉野川市全体の正答率 ○上回っている
	・「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ○上回っている
	・「話すこと・聞くこと」 ほぼ同程度
	・「書くこと」 ○やや上回っている
	・「読むこと」 ほぼ同程度
算 数	吉野川市全体の正答率 ほぼ同程度
	・「数と計算」 やや上回っている
	・「図 形」 ○上回っている
	・「測 定」 ○やや上回っている
	・「変化と関係」 ▽下回っている
	・「データの活用」 ▽やや下回っている

中 学 校

教 科	結 果
国 語	吉野川市全体の正答率 ○上回っている
	・「話すこと・聞くこと」 ○やや上回っている
	・「書くこと」 ○上回っている
	・「読むこと」 ○やや上回っている
	・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」 ○上回っている
数 学	吉野川市全体の正答率 ほぼ同程度
	・「数と式」 ほぼ同程度
	・「図 形」 ▽下回っている
	・「関 数」 ○やや上回っている
	・「資料の活用」 ○やや上回っている

※ 吉野川市教育委員会では、全国正答率と比較した正答率を次のように表記しております。

○上回る	+2.0%以上
○やや上回る	+1.0%~+1.9%
ほぼ同程度	-0.9%~+0.9%
▽やや下回る	-1.0%~-1.9%
▽下回る	-2.0%以下

◇ 小学校国語 ◇

《 身に付いていること 》

- ① 文中で漢字を正しく使ったり，主語と述語の関係を捉えたりすること。
- ② 目的や意図に応じて話の内容が明確になるように，スピーチの構成を考え，資料を使って話すこと。
- ③ 思考に関わる語句の使い方を理解し，話や文章の中で使うこと。

《 身に付けさせたいこと 》

- ① 文中における修飾と被修飾の関係を捉えること。
- ② 目的に応じて文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けること。
- ③ 中心となる語や文を見付け，要約して書くこと。

◇ 小学校算数 ◇

《 身に付いていること 》

- ① 棒グラフから，数量や項目間の関係を読み取ること。
- ② 日常生活に必要な時刻や時間を求めること。
- ③ 二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び，求め方と答えを式や言葉を用いて記述すること。
- ④ 速さと道のりを基に時間を求める式に表すこと。

《 身に付けさせたいこと 》

- ① 商が1より小さくなる等分除(整数) \div (整数)の場面で，場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し，計算すること。
- ② 速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方を理解し，それを求めること。
- ③ 複数のデータから項目間の違いに着目し，特徴や傾向を読み取ること。

◇ 中学校国語 ◇

《 身に付いていること 》

- ① 話合いの話題や方向，質問の意図を捉えること。
- ② 文脈に即して，漢字を正しく書くこと。
- ③ 事象や行為などを表す多様な語句について理解すること。
- ④ 伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書くこと。

《 身に付けさせたいこと 》

- ① 文章に表れているものの見方や考え方を捉え，自分の考えをもつこと。
- ② 書いた文章を読み返し，語句や文の使い方，段落相互の関係などに注意して，読みやすく分かりやすい文章にすること。
- ③ 文脈の中における語句の意味を理解すること。

◇ 中学校数学 ◇

《 身に付いていること 》

- ① 文字を用いた式の計算ができること。
- ② 与えられたデータから中央値を求めること。
- ③ 与えられた表やグラフから必要な情報を適切に読み取ること。
- ④ 数量の関係を見だし，文字を用いて式に表現したり，式の意味を読み取ったりすること。

《 身に付けさせたいこと 》

- ① ヒストグラムや代表値を用いて資料の傾向を的確に捉え，判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること。
- ② 基本的な平面図形の性質を見つけ，平行線や角の性質を理解し，それに基づき図形の性質を説明すること。
- ③ 図形の性質を三角形の合同条件などを基にして確かめ，論理的に思考し表現すること。
- ④ 数の性質について，成り立つ事柄を事象に即して解釈し，特徴を数学的に説明すること。

(3) 質問紙による調査結果

① 小学校

《基本的生活習慣等》

小学校

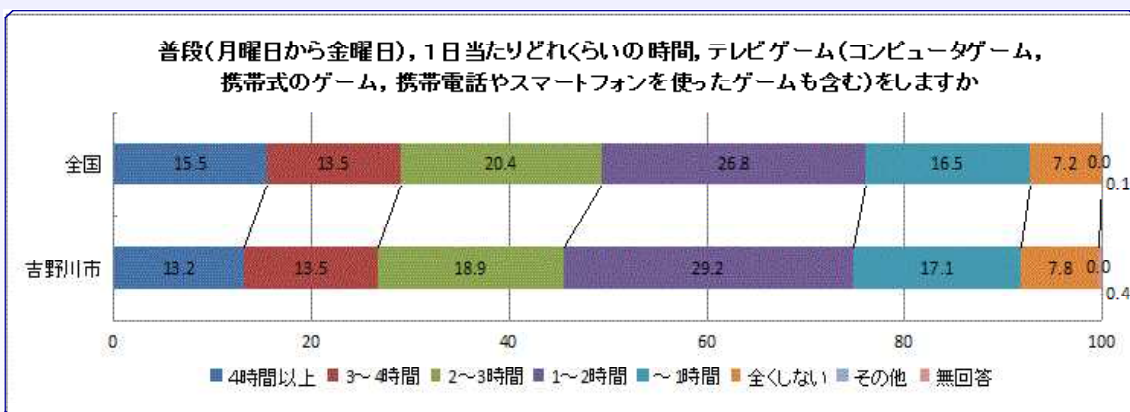
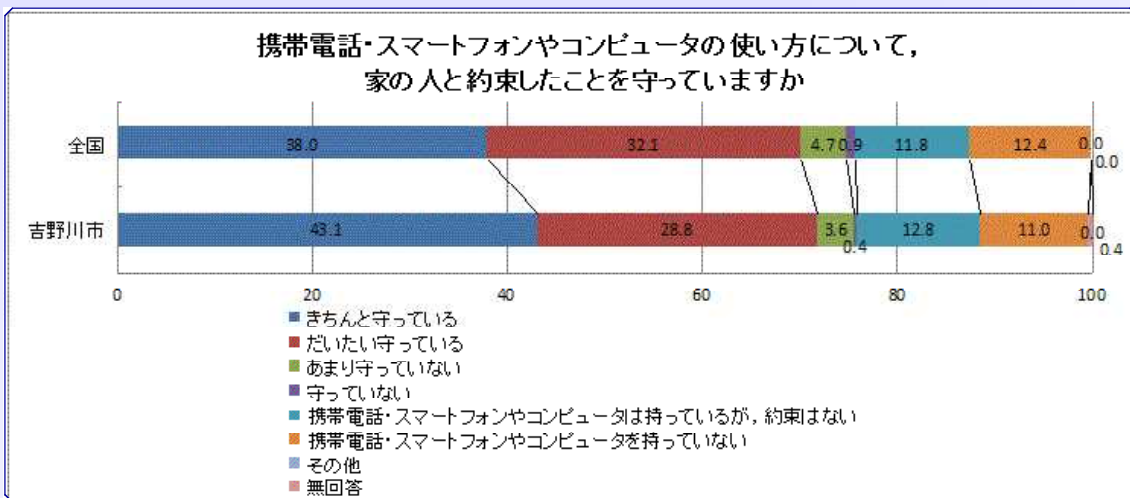
- 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか
- 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯ゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか

使い方に関する約束について「きちんと守っている」と回答した児童の割合が約43%と、全国平均と比較すると、5.1ポイント上回っていました。

1日当たりのテレビゲームをする時間を、「1～2時間」と回答した児童の割合が約29%で最も多く、「2時間以上」と回答した児童は約46%であり、全国平均を3.8ポイント下回っていました。

学力とのクロス集計※では、「守っていない」「4時間以上」と回答した児童の正答率は低いことが分かりました。携帯電話やテレビゲーム等に依存することがないように、使い方や使用時間等についての約束を再確認することが大切だと考えています。

毎日の朝ごはんの摂取の有無や、就寝・起床時刻については、全国平均とほぼ同程度でした。



※ クロス集計とは、2つの質問項目の回答結果をかけあわせて集計する手法です。

- 自分には，よいところがあると思いますか
- 将来の夢や目標を持っていますか
- 自分でやると決めたことは，やり遂げられるようにしていますか
- いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思いますか

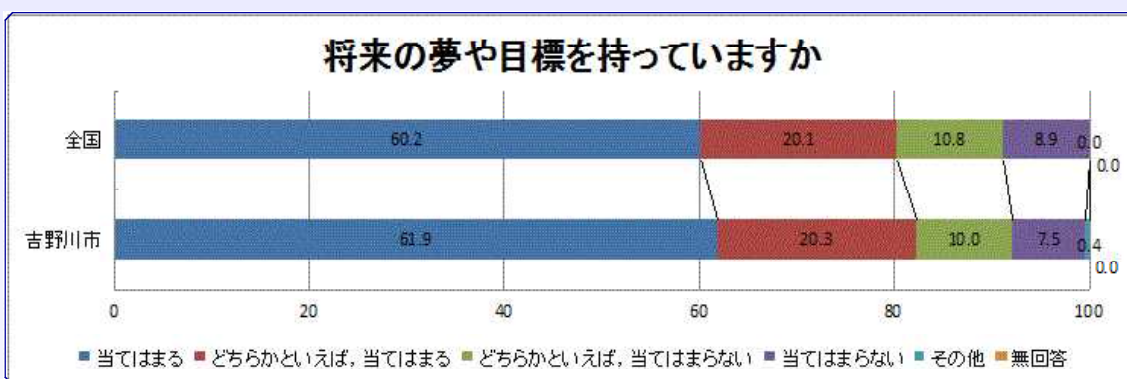
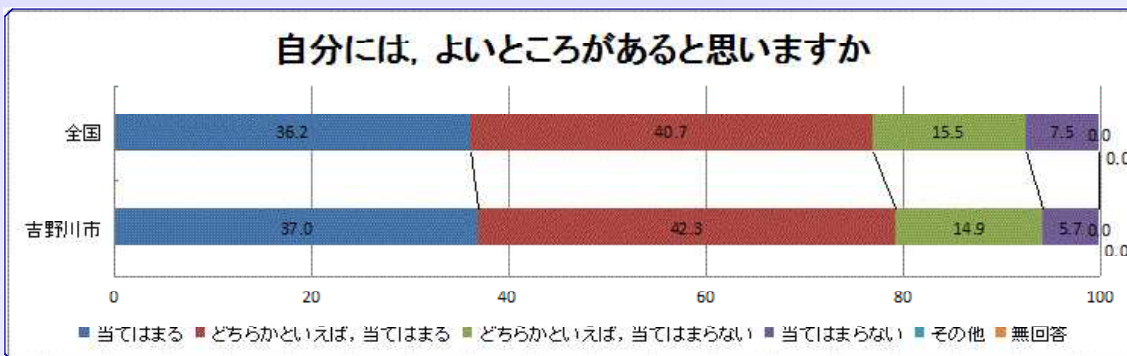
「自分にはよいところがある」と回答した児童の割合は約79%で，全国平均と比較して，2.4ポイント上回っていました。学力とのクロス集計では自己有用感が高ければ正答率が高いことが見受けられました。

「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童は約82%で，全国平均を1.9ポイント上回っていました。

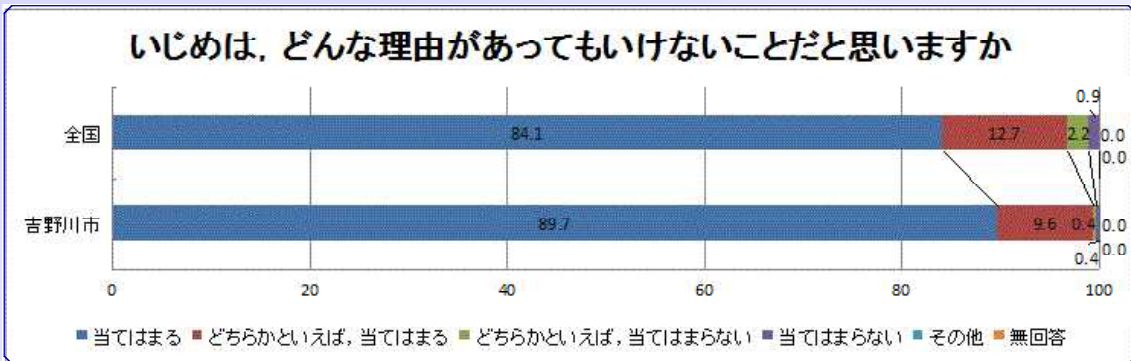
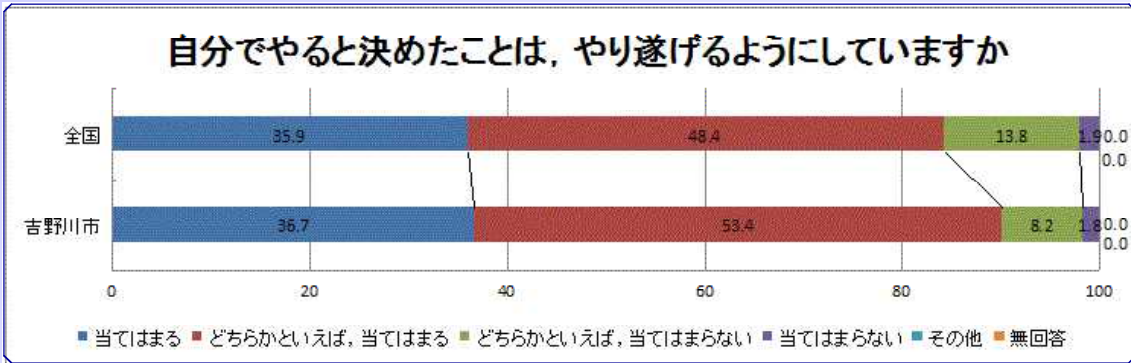
「やると決めたことは，やり遂げられるようにしている」と回答した児童は約90%で，全国平均を5.8ポイント上回っていました。

「いじめはどんな理由があってもいけない」と回答した児童の割合は，約99%(全国約97%)でした。いじめを絶対に許さないという雰囲気为学校や家庭において形成されています。

各校における人権教育の推進やポジティブな行動支援(PBS)[※]の成果もあり，児童は落ち着いた環境のもとで自己有用感を高め，自信ややる気を向上させていることが分かります。



※ ポジティブな行動支援(Positive Behavior Support:PBS)とは，望ましい行動に対する賞賛や承認を通して，全ての幼児児童生徒が主体的に適切な行動を身に付ける教育方法です。

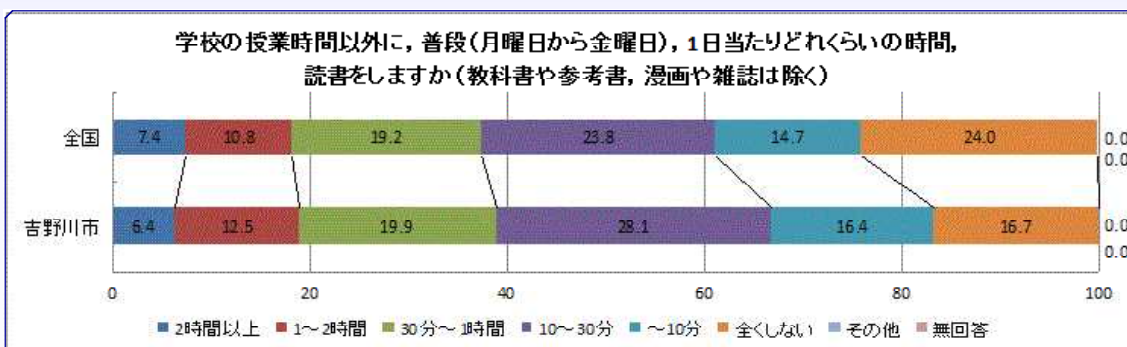
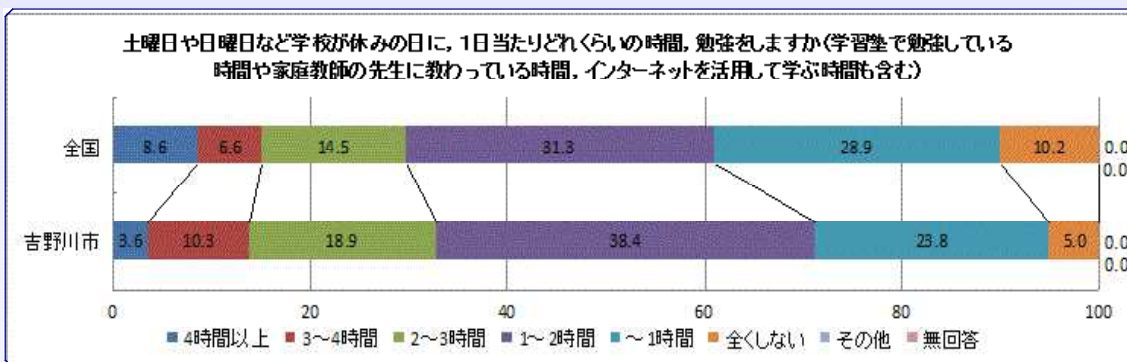
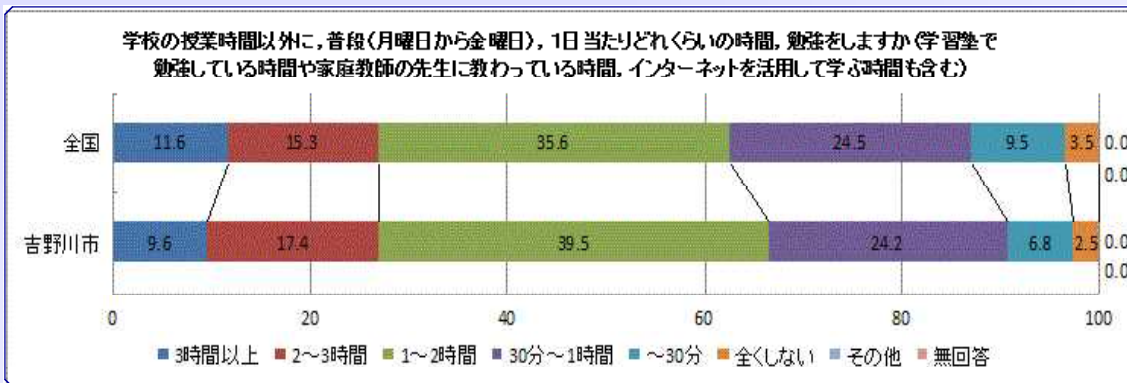


- 学校の授業時間以外に，普段(月曜日から金曜日)1日当たりどれくらいの時間，勉強をしますか(学習塾で勉強する時間や家庭教師に教わる時間，インターネットを活用して学ぶ時間も含む)
- 土曜日や日曜日など学校が休みの日に1日当たりどれくらいの時間，勉強をしますか(学習塾で勉強する時間や家庭教師に教わる時間，インターネットを活用して学ぶ時間も含む)
- 学校の授業時間以外に，普段(月曜日から金曜日)1日当たりどれくらいの時間，読書をしますか(教科書や参考書，漫画や雑誌は除く)

「普段1時間以上勉強をしている」と回答した児童の割合は約67%(全国約63%)，「休日に2時間以上勉強している」と回答した児童は約33%(全国約30%)であり，どちらも全国平均を上回っていました。

家庭学習は習慣化されているようです。学力とのクロス集計では，学習時間が長いと正答率が高いことが見受けられました。

1日当たりの読書時間を「30分以上」と回答した児童は約39%であり，全国平均を1.4ポイント上回っていました。「全くしない」と回答した児童は約17%(全国約24%)で，より良い傾向にあるものの，さらに読書を推進する必要があると考えます。



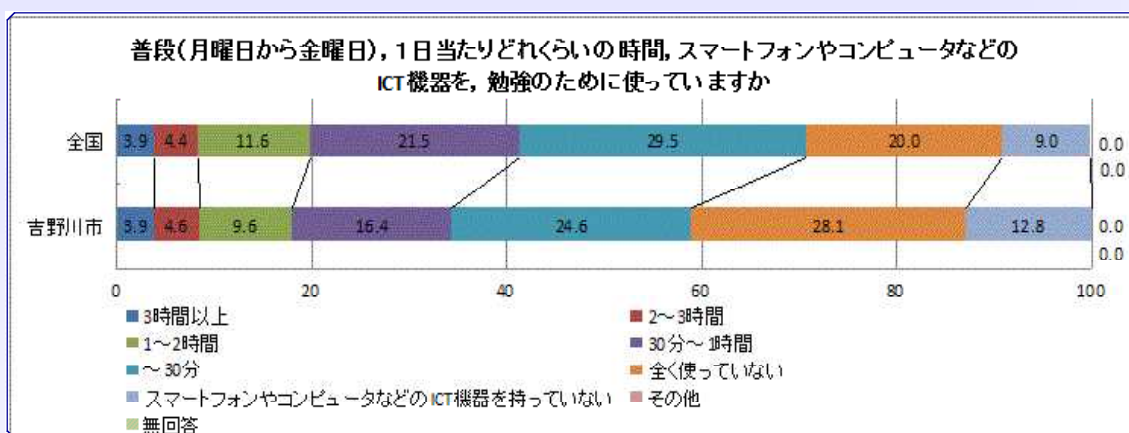
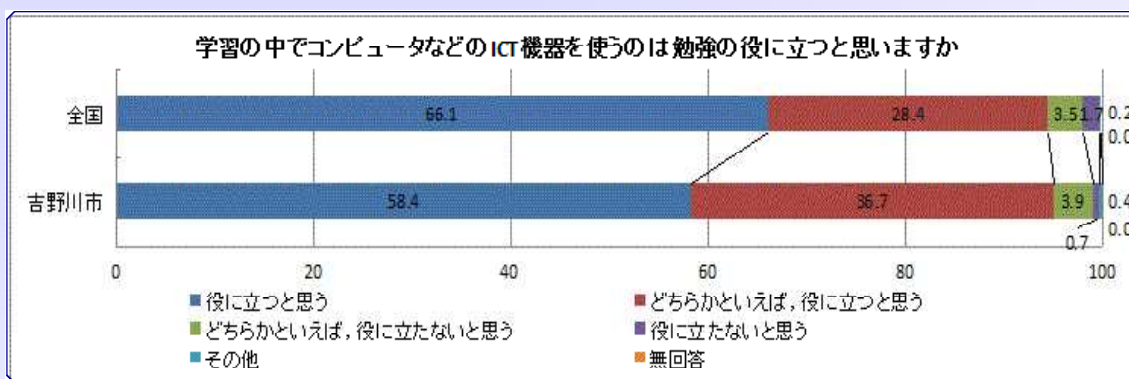
- 学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか
- 普段(月曜日から金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を, 勉強のために使っていますか

パソコンや大型提示装置などのICT機器, GIGAスクール構想による1人1台のタブレット端末の導入により, 授業でICT機器を活用する機会は増加傾向にあります。

「ICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う」と回答した児童の割合が約95%(全国約95%)であり, 必要性を感じ, ICT機器の活用に意欲的であることが見受けられます。

1日当たりのICT機器の使用時間が30分以上の児童は約35%で, 全国平均を6.9ポイント下回っていました。

「全く使っていない」と回答した児童は約28%(全国約20%)であり, ICT機器を勉強のために有効に使うことが求められます。

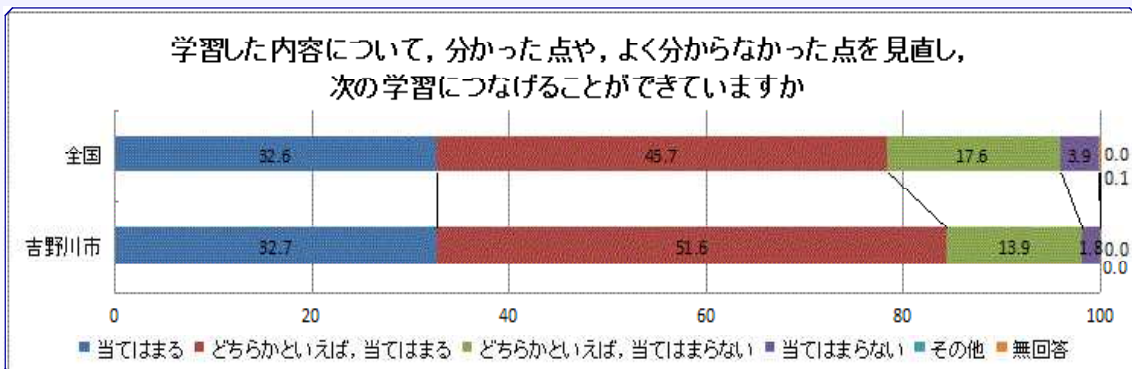
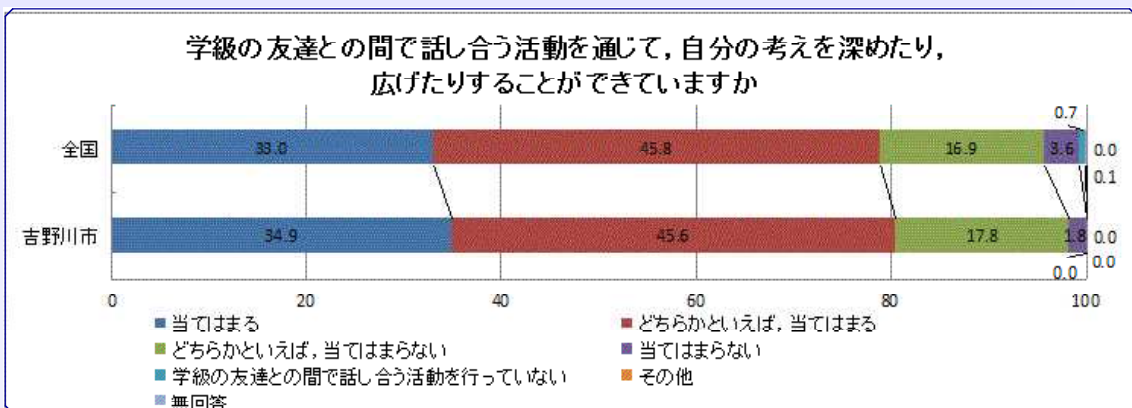
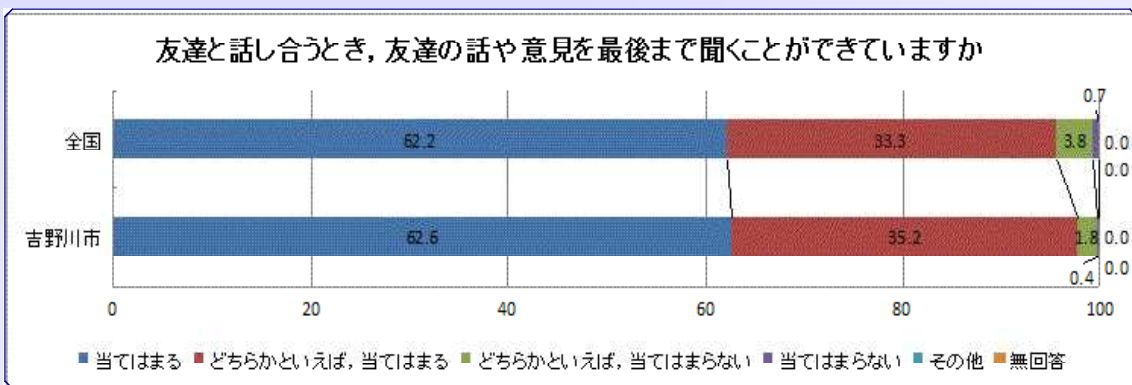


- 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか
- 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができますか
- 学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次につなげることができますか

「友達の話や意見を最後まで聞いている」と回答した児童の割合は約98%(全国約96%),「自分の考えを深めたり広げたりすることができる」と回答した児童は約81%(全国約79%)であり、どちらも全国平均を上回っていました。

「学習内容を次の学習につなげている」と回答した児童は約84%で、全国平均を6.0ポイント上回っていました。

主体的・対話的な活動を通して、お互いに自分の考えをしっかりと伝え合い、考えを深化させながら、課題解決を図ろうとしていることが見受けられます。

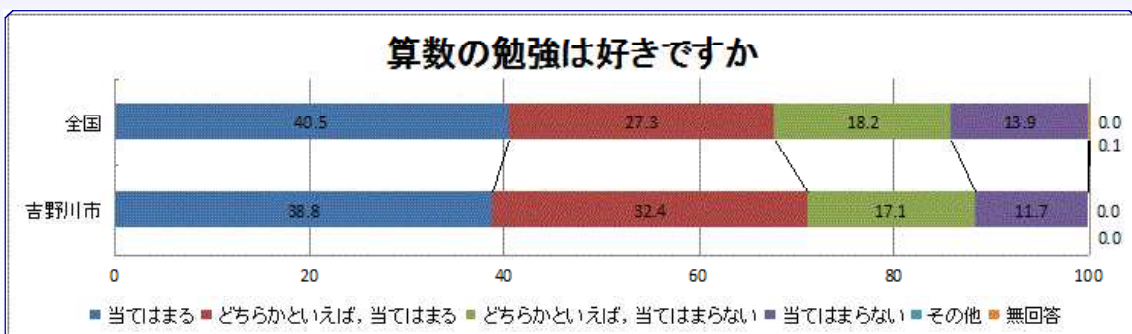
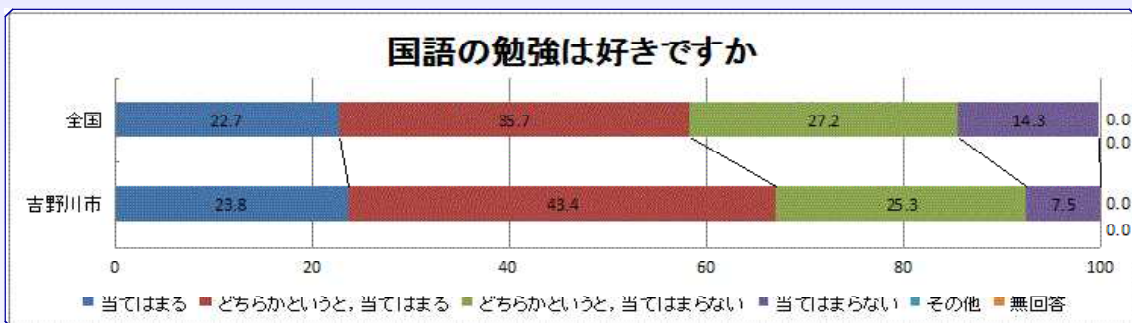
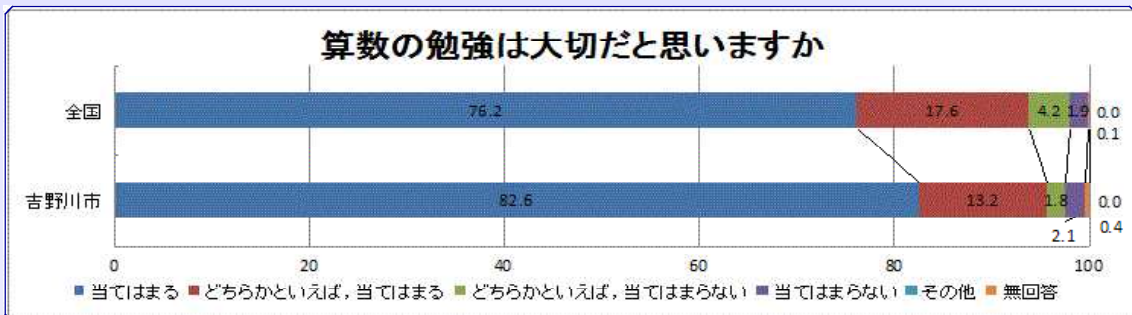
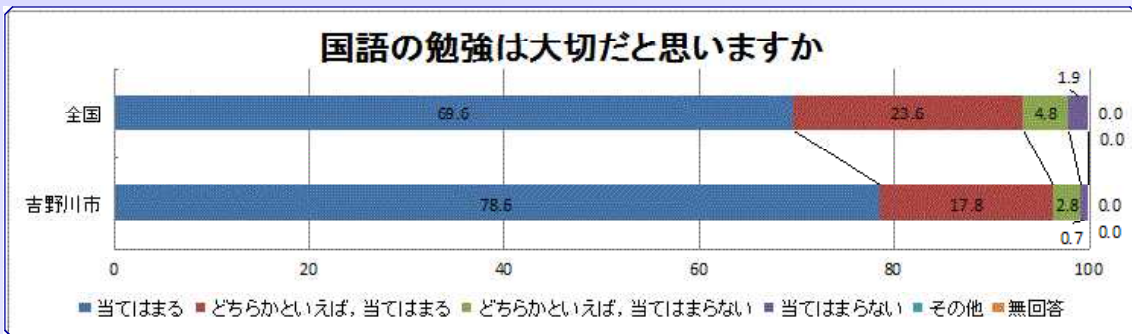


- 国語の勉強は大切だと思いますか
- 算数の勉強は大切だと思いますか
- 国語の勉強は好きですか
- 算数の勉強は好きですか

「国語の勉強は大切だと思う」と回答した児童の割合は約96%(全国約93%),「国語の勉強は好きだ」と回答した児童は約67%(全国約58%)であり、どちらも全国平均を上回っていました。

「算数の勉強は大切だと思う」と回答した児童は約96%(全国約94%),「算数の勉強は好きだ」と回答した児童は約71%(全国約68%)であり、どちらも全国平均を上回っていました。

学力とのクロス集計では、国語・算数の勉強は大切だと思う児童は、正答率が高い傾向が見られました。

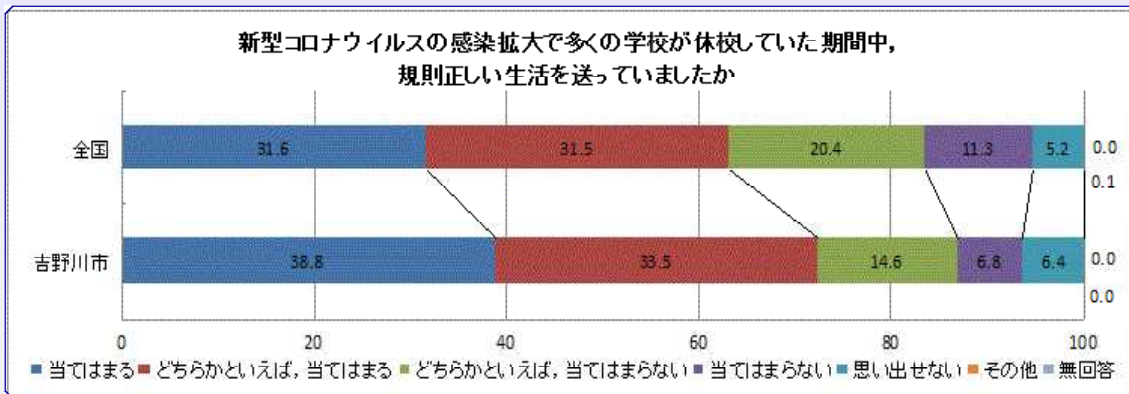
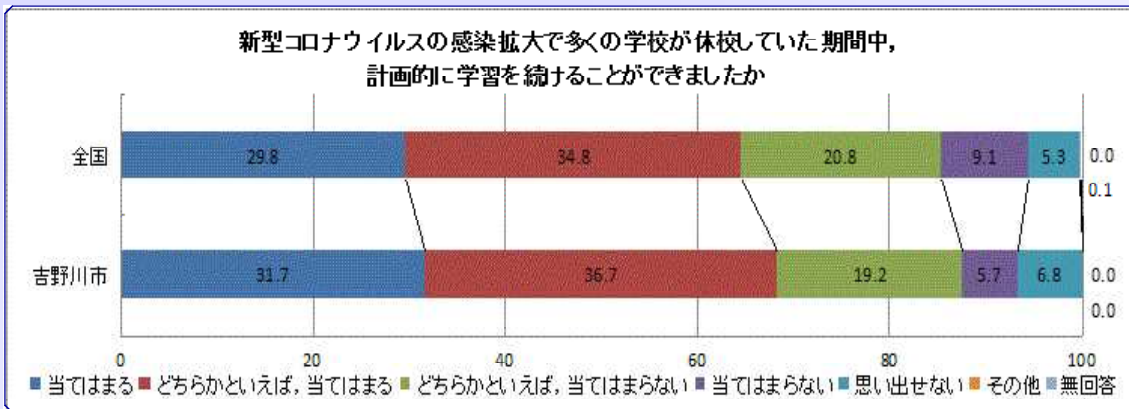


- 新型コロナウイルスの感染拡大で学校が臨時休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか
- 新型コロナウイルスの感染拡大で学校が臨時休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか

休校中の学習について「計画的に学習を続けることができた」と回答した児童の割合は約68%であり、全国平均と比較すると3.8ポイント上回っていました。

「規則正しい生活を送っていた」と回答した児童は約72%で、全国平均を9.2ポイント上回っていました。

休校中でも各学校ごとに作成したプリント等を配布したり、電話・メール連絡や登校日を設定し、学習状況や生活状況を把握できるように工夫したりしたことが見て取れます。



② 中学校

《基本的生活習慣等》

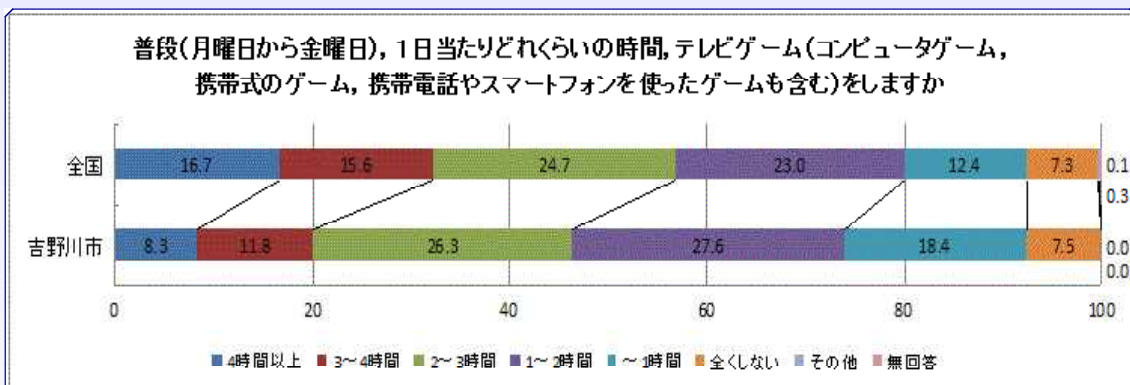
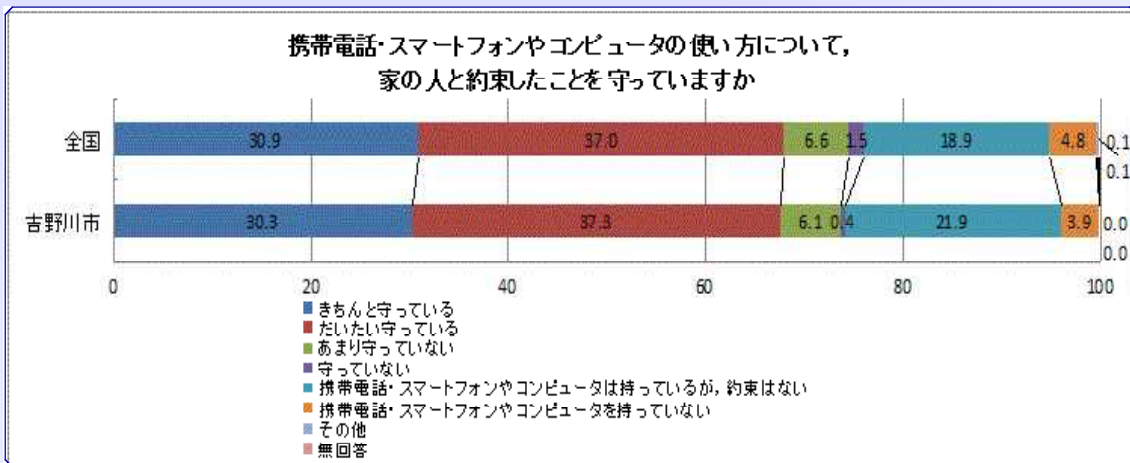
中学校

- 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか
- 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯ゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか

「使い方の約束を守っている」と回答した生徒の割合は約68%であり、全国平均とほぼ同程度でした。一方、「携帯電話等を持っているが約束はない」と回答した生徒は約22%で、全国平均を3.0ポイント上回っていました。

1日当たりのテレビゲームをする時間は、「2時間以上」と回答した生徒は約46%であり、全国平均を10.6ポイント下回っていました。

学力とのクロス集計では、「持っていない」「全くしない」と回答した生徒の正答率が高い傾向が見られました。



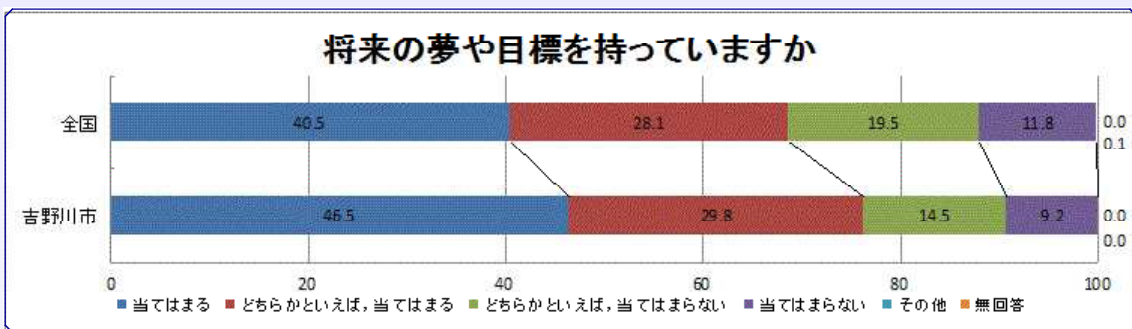
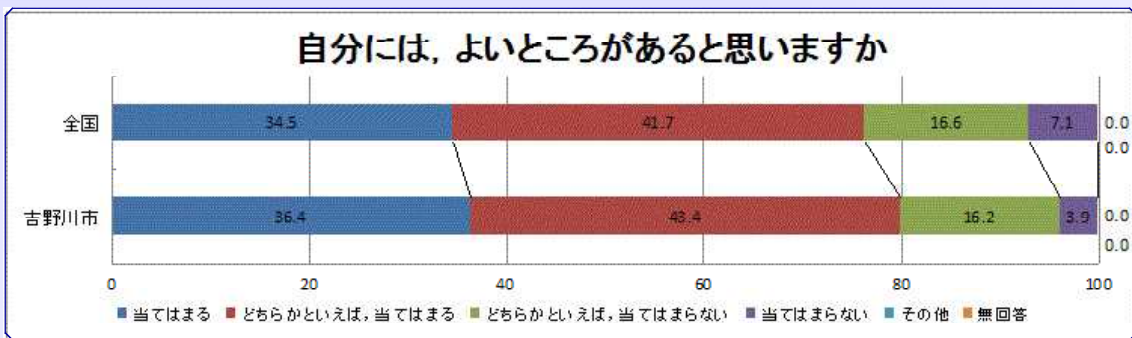
- 自分には，よいところがあると思いますか
- 将来の夢や目標を持っていますか
- 自分でやると決めたことは，やり遂げるようにしていますか
- いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思いますか

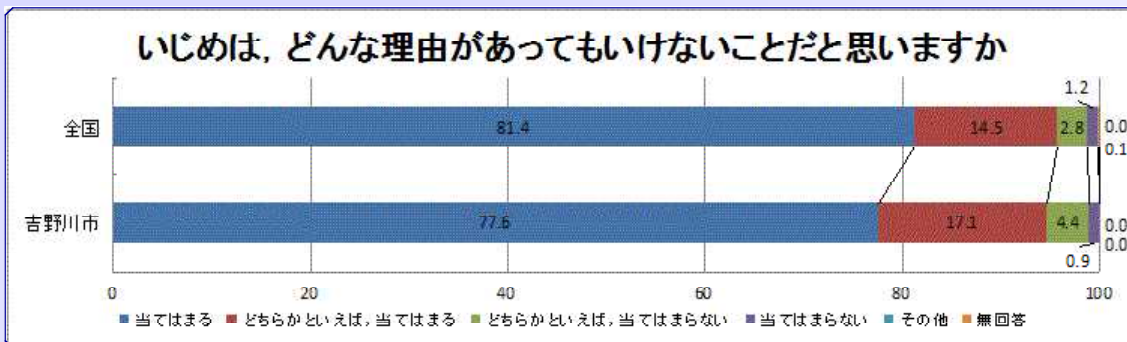
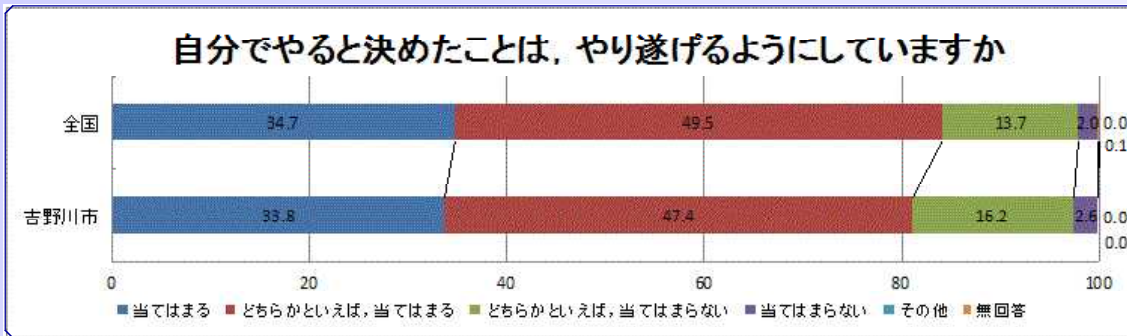
「自分にはよいところがあると思う」と回答した生徒の割合は約80%で，全国平均と比較すると，3.6ポイント上回っていました。平成31年度の調査結果と比べても12.7ポイント増加しており，自己有用感の高まりが見て取れます。

「将来の夢や目標を持っている」と回答した生徒は約76%で，全国平均を7.7ポイント上回っていました。

「自分でやると決めたことはやり遂げるようにしている」と回答した生徒は約81%で，全国平均を3.0ポイント下回っていました。

「いじめはどんな理由があってもいけない」と回答した生徒は約95%(全国約96%)で，全体に占める割合が高いことは良い傾向ですが，「どんな理由があってもいけないことだと思わない」と回答した生徒も約5%おり，課題であると考えます。



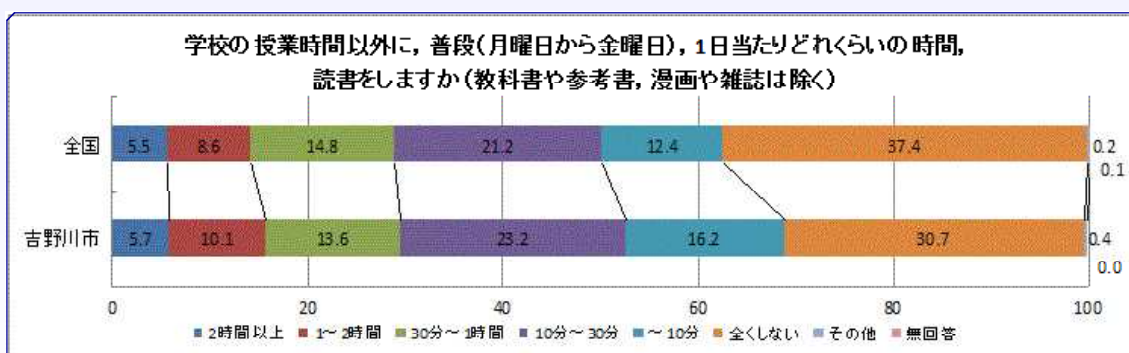
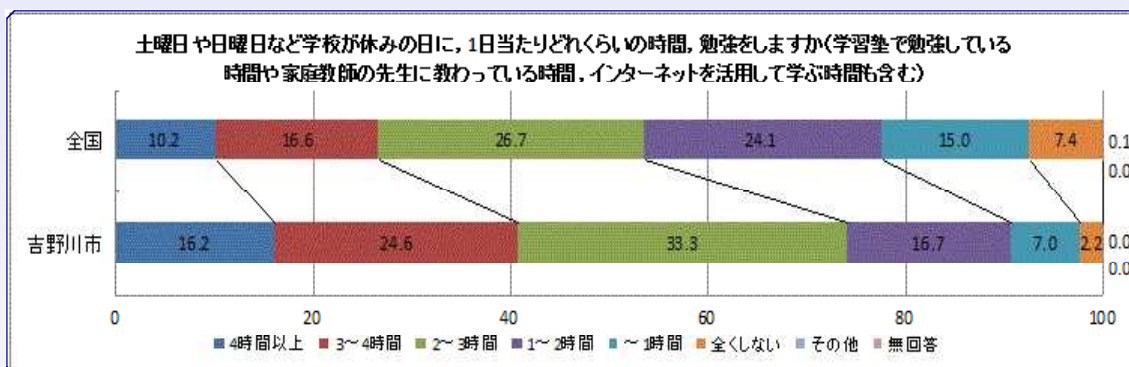
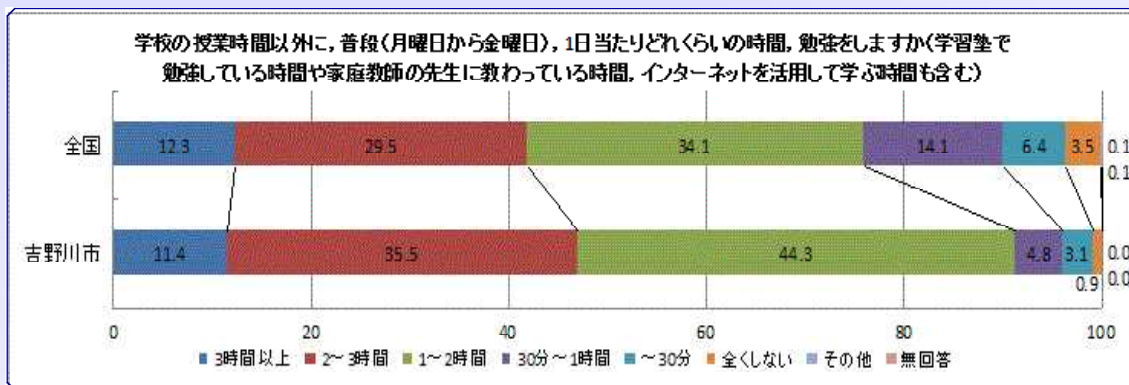


- 学校の授業時間以外に，普段(月曜日から金曜日)1日当たりどれくらいの時間，勉強をしますか(学習塾で勉強する時間や家庭教師に教わる時間，インターネットを活用して学ぶ時間も含む)
- 土曜日や日曜日など学校が休みの日に1日当たりどれくらいの時間，勉強をしますか(学習塾で勉強する時間や家庭教師に教わる時間，インターネットを活用して学ぶ時間も含む)
- 学校の授業時間以外に，普段(月曜日から金曜日)1日当たりどれくらいの時間，読書をしますか(教科書や参考書，漫画や雑誌は除く)

「普段1時間以上勉強している」と回答した生徒の割合は約91%(全国約76%)であり、「休日に2時間以上勉強している」と回答した生徒も約74%(全国約54%)と，どちらも全国平均を大きく上回っていました。

特に「休日に3時間以上」と回答した生徒の割合は約41%で，全国平均を14.0ポイント上回っていました。

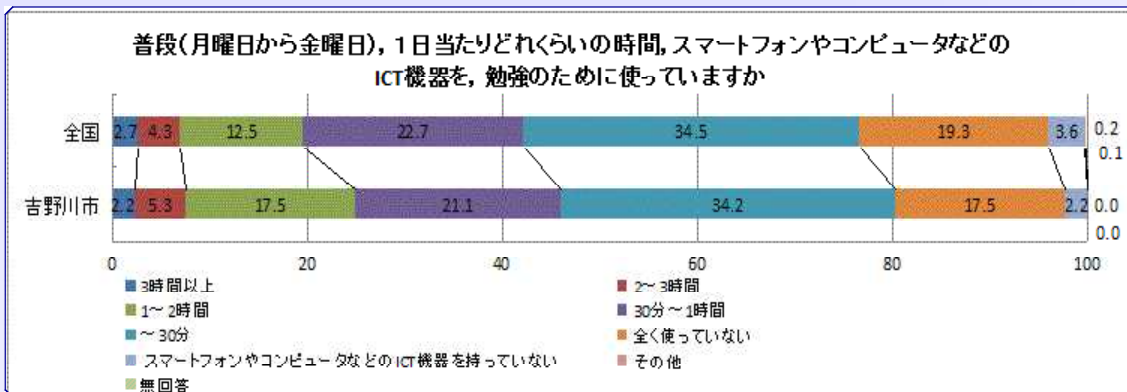
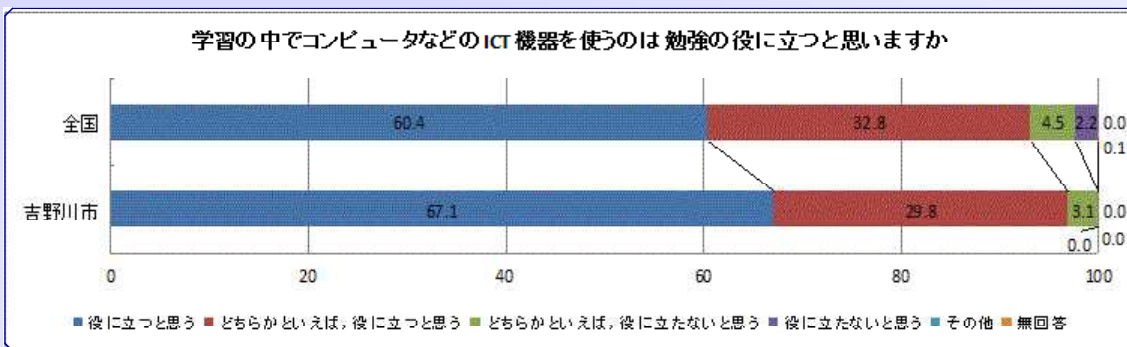
1日当たりの読書時間が30分以上の生徒の割合は約29%で，全国平均とほぼ同程度です。「10分以下」「全くしない」と回答した生徒が約47%(全国約50%)を占め，十分な読書時間を確保できているとは言えません。



- 学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか
- 普段(月曜日から金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を, 勉強のために使っていますか

「ICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う」と回答した生徒の割合は約97%であり, 全国平均と比較すると, 3.7ポイント上回っていました。小学校の調査結果と同様に, その必要性を感じていることが見受けられます。

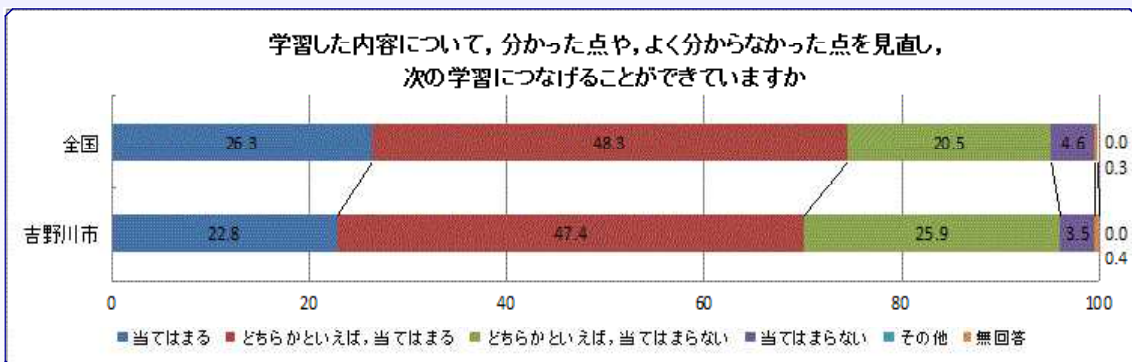
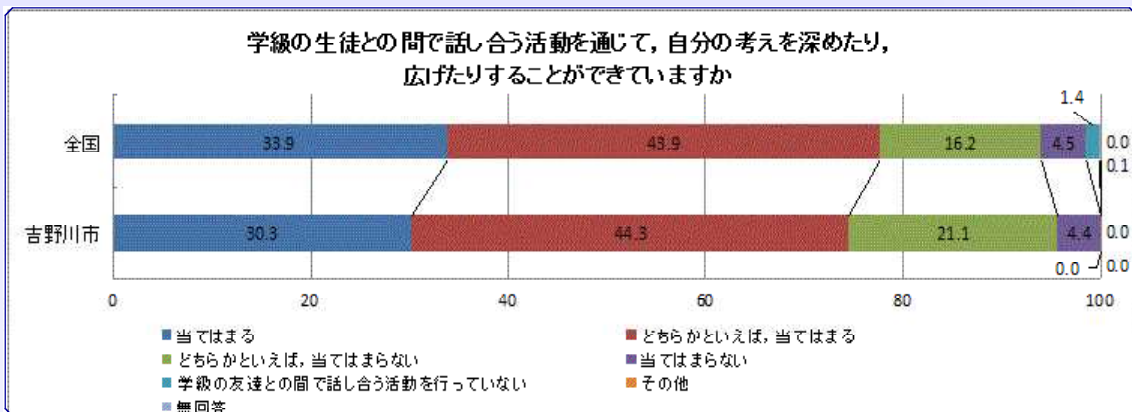
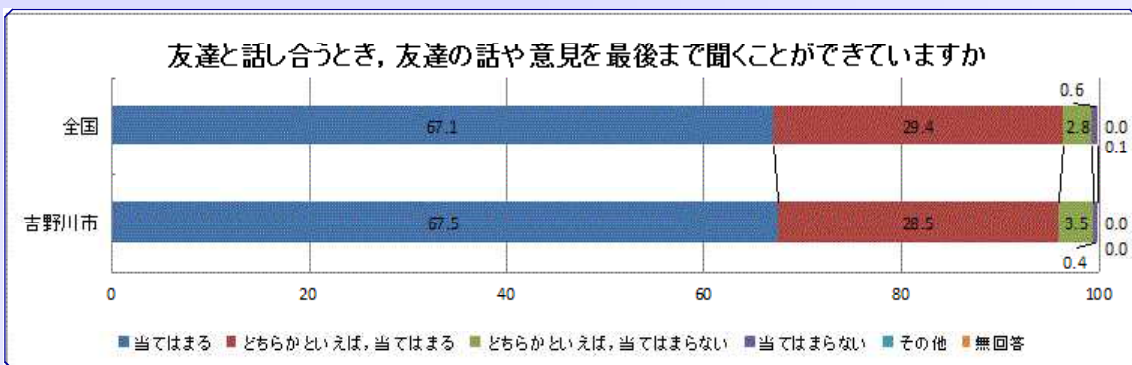
1日当たりのICT機器の使用時間が30分以上の生徒は約46%で, 全国平均を3.9ポイント上回っていました。



- 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか
- 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができますか
- 学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次につなげることができますか

「友達の話や意見を最後まで聞くことができる」と回答した生徒の割合は約96%で、全国平均とほぼ同程度でした。

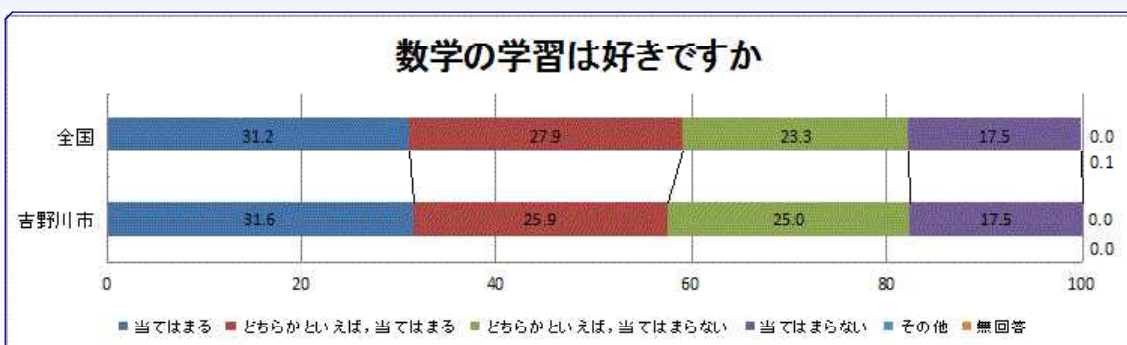
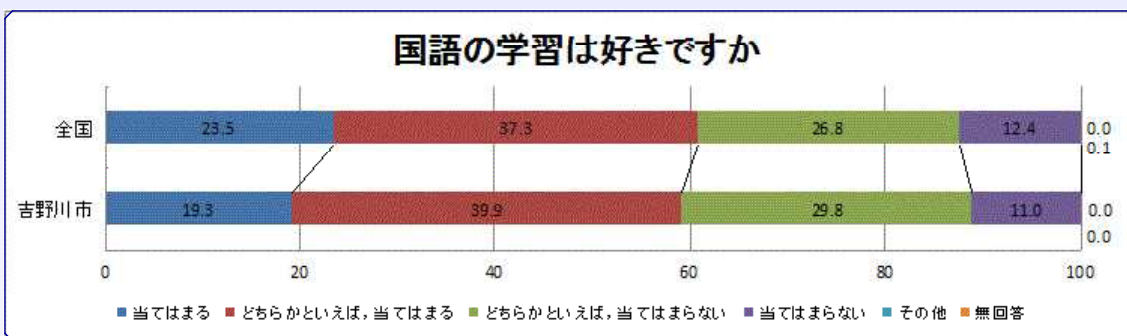
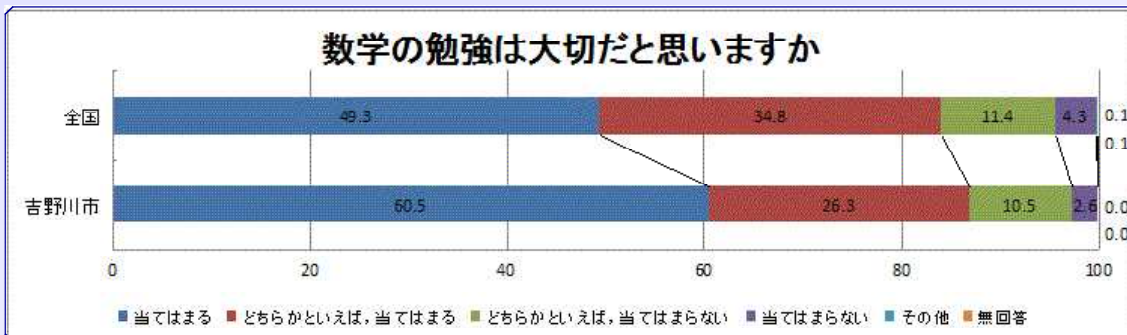
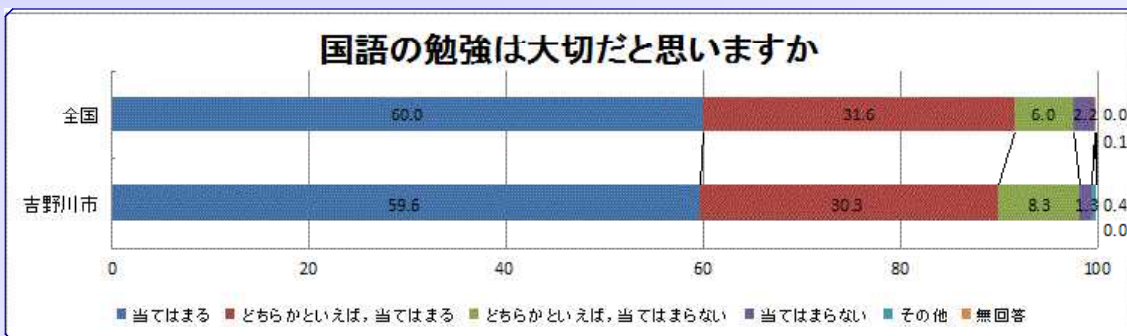
しかしながら「自分の考えを深めたり広げたりすることができる」と回答した生徒は約75%(全国約78%),「学習した内容を、次の学習につなげることができる」と回答した生徒は約70%(全国約75%)で、どちらも全国平均を下回っていました。



- 国語の勉強は大切だと思いますか
- 数学の勉強は大切だと思いますか
- 国語の勉強は好きですか
- 数学の勉強は好きですか

「国語の勉強は大切だと思う」と回答した生徒の割合が約90%(全国約92%),「数学の勉強は大切だと思う」と回答した生徒は約87%(全国約84%)で、勉強の大切さや必要性を感じている生徒が多いことが見受けられます。

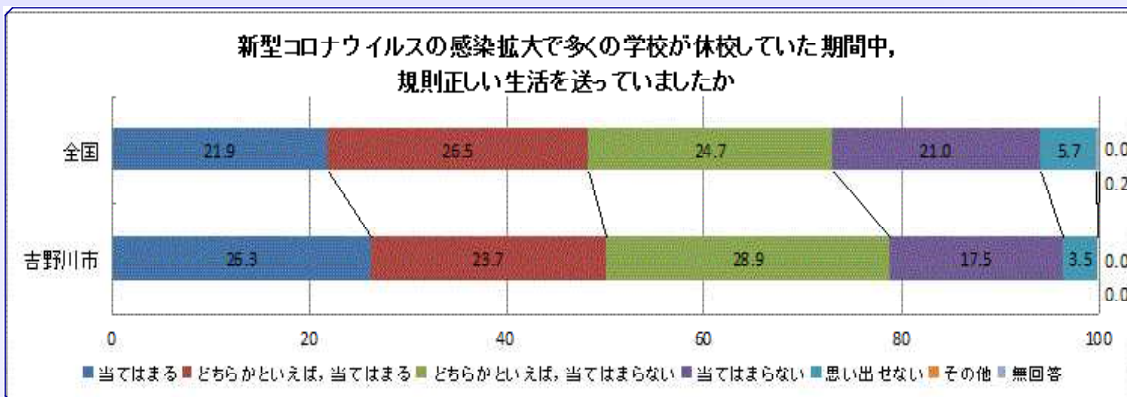
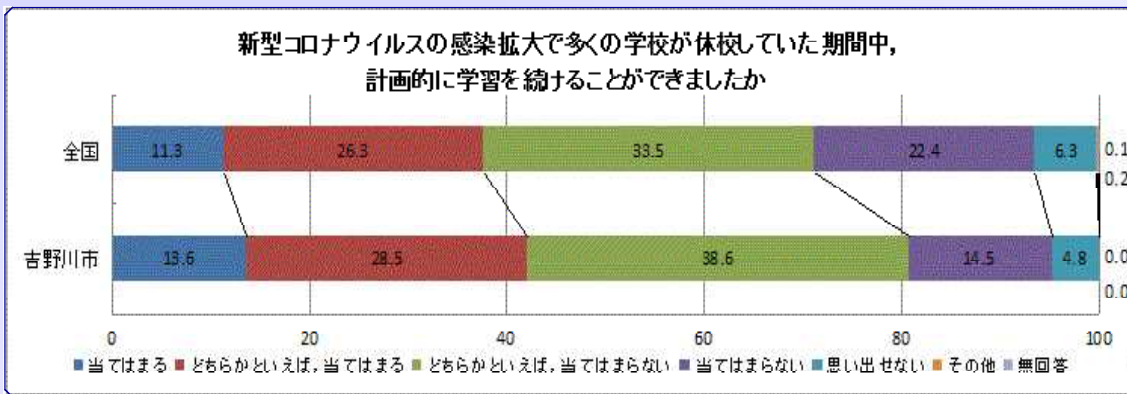
「国語の勉強は好きだ」と回答した生徒は約59%(全国約61%),「数学の勉強は好きだ」と回答した生徒は約58%(全国約59%)で、どちらも全国平均をやや下回っていました。



- 新型コロナウイルスの感染拡大で学校が臨時休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか
- 新型コロナウイルスの感染拡大で学校が臨時休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか

休校中の学習や生活について「計画的に学習を続けることができた」と回答した生徒の割合は約42%で、全国平均を4.5ポイント上回っていました。

「規則正しい生活を送っていた」と回答した生徒は約50%で、全国平均を1.6ポイント上回っていました。



(4) 吉野川市の学力向上への取組

- ① 「学力向上実行プラン」の目標や内容等を全職員で共通理解するとともに、学力向上推進員を中心として、基本的な生活習慣の確立や授業改善等について、組織的な取組を推進してまいります。
- ② 授業の「めあて」と「まとめ」を毎時間示し、1時間の授業のねらいを明確にすることで、児童生徒にとって「分かりやすい」授業の実践に取り組んでまいります。
- ③ 内容や時間のまとまりを見通しながら、「言語活動の充実」と「情報活用能力」の育成を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組んでまいります。
- ④ 「GIGAスクール構想」により整備された「1人1台端末」を最大限に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実してまいります。
- ⑤ 各校の実態に応じて、ドリル学習やミニテストなどを実施し、知識の定着を図ってまいります。
- ⑥ 各校で「家庭学習の手引き」を作成し、児童生徒と保護者への啓発のために配布・活用してまいります。
- ⑦ 講師を招いての校内研修や授業研究を行い、教師の指導力・授業力の向上に努めてまいります。
- ⑧ 市教育委員会主催の研修を行い、教職員の指導力向上に努めてまいります。
- ⑨ 特別支援教育についての理解を一層深め、個に応じたきめ細かな指導や、児童生徒の特性に合った指導方法の工夫等に取り組んでまいります。
- ⑩ 地域と連携し、教育内容と教育活動に必要な人的・物的資源を、組織的・効果的に活用してまいります。

(5) 学力向上に向けてご家庭で取り組んでいただきたいこと

- ① 「早寝・早起き・朝ごはん」を心がけ、望ましい生活習慣を身に付けるようにしましょう。
- ② 携帯電話・スマートフォンやコンピュータ、テレビゲームなどの使用において、使い方や使用時間等についてのルールを確認し、きちんと守るようにしましょう。
- ③ 身の回りを整理・整頓し、学習準備を整えるようにしましょう。
- ④ 様々な場面で、子どものよさや成長を認めたり、誉めたりして、自己有用感を高めるようにしましょう。
- ⑤ 自己の将来を豊かな人生とするために、夢と目標、それを実現するための手立て等について、家族で話す機会を設けましょう。
- ⑥ 一人一人の違いと個性を認め、尊重しあうことを大切にし、お互いの人権を守っていきましょう。
- ⑦ 家庭での学習時間を発達段階に応じて十分に確保し、授業の予習・復習などに計画的に取り組みましょう。
- ⑧ 「家庭学習の手引き」などを活用して家庭学習を工夫し、個に応じた学習や、課題解決的な学習を進めるようにしましょう。
- ⑨ 学校図書館・図書室や地域の図書館を活用することで、適切な読書時間を確保し望ましい読書習慣を身に付けましょう。
- ⑩ 地域との連携を図り、ボランティア活動や自然体験など、地域行事へ積極的に参加し、豊かな体験を充実させましょう。